

## 送電線安全性設定強化 (Enhanced Powerline Safety Settings (EPSS))

[音楽再生] Pacific Gas and Electric Companyの最も重要な責任は、当社の電力をご利用いただいているお客様と地域社会の安全の確保です。山火事のリスクが高まっていることから、PG&Eは山火事防止対策を強化しています。深刻な干ばつと気温の上昇により、カリフォルニア州や米国西部全域で山火事のリスクが高まっています。

当社は、この急速に変化する環境でシステムを安全に稼働させる緊急性を理解しています。そのため、火災のリスクが高い特定の地域で前例のないさらなる安全対策を実施しています。これらの対策には、送電線の保護装置の設定の更新が含まれます。送電線に問題が発生した場合に、ブレーカーとリクローザーがよりすばやく電力を遮断するように感度を調整しています。

このビデオでは、更新された設定の概要と、それによってシステムの安全性がどのように向上するかについて説明します。これらの更新は山火事の防止に役立ちますが、お客様にとっては停電の回数が増え、その時間が長くなる可能性もあります。停電が負担になることは承知しておりますが、安全性を損なうことなく電力サービスの信頼性を高めるための対策であるため、その概要について説明します。

この極度の干ばつおよび乾燥状態で地域社会のお客様を守るために、カリフォルニア公益事業委員会 (California Public Utilities Commission (CPUC)) によって定義された火災の危険性が高い地区 (High Fire-Threat District (HFTD)) で回路の設定を更新しています。設備の感度と動作速度を更新すると、システムが潜在的な問題を検出した場合に、よりすばやく自動的に電力供給が停止されます。

当社のシステムには、ご家庭の電気システムと同様に動作する一連の保護装置、サーキットブレーカー、フューズ、リクローザーがあります。木の枝が電線に倒れかかって障害が発生した場合でも、設備そのものに問題が発生した場合でも、保護装置が作動して電力供給を停止します。環境条件がそれほど極端でないときは、設備が標準的な構成になっているため、それほど頻繁に電力供給は遮断されません。しかし、今日の環境では、壊滅的な山火事を低減するために可能なあらゆる対策を徹底して講じる必要があります。

[音楽再生]

停電が発生すると、作業員が電線に損傷がないかどうかを点検します。システムの電力は何らかの原因により失われたのです。そのため、電力が復旧したときに山火事を引き起こす可能性がある問題がないことを確認する必要があります。点検は地上から、またはヘリコプターで空中から行われます。

地上巡回は、アクセスしにくい地形では徒歩で行う必要があります。これが長引く停電の一因となる場合があります。電線が個人様の敷地内にある場合は、電力を復旧させるために敷地内に入らせていただくかなくてはならないことがあります。回路の各部分が安全であると判断され、再び通電する準備ができれば、作業員が段階的に電力を復旧させます。できるだけ迅速に電力を復旧させながら安全の維持を優先しています。

これらの装置設定の更新によって発生する停電は、公共の安全のための計画停電 (Public Safety Power Shutoff)、つまりPSPSイベントではないということは重要です。PSPSイベントは、強風と乾燥した燃料という2つの条件が重なったときに予防的に電力供給を停止することに焦点を合わせていますが、当社の新しい装置設

定に関連する停電は計画外です。システムに障害または電線の問題が発生したときに停電が発生します。これらの停電は計画外であるため、事前にお知らせすることはできません。

しかし、電力の復旧時期に関するすべての情報は、わかり次第すぐにお客様に提供します。停電に関する最新情報については、ウェブサイト [pge.com/outage](http://pge.com/outage) をご覧ください。これらの停電によって困難な状況が発生することは承知しておりますが、お客様や地域社会を守るのはこの新しい対策しかありません。

安全性を高めるこの対策の一例が、9月7日にオークハースト地域の約1,000件のお客様に発生した停電です。PG&Eの有資格の技術者が現場に到着し、青々としたオークの木が折れて電線の上に倒れたため、2本の電柱とその電線が倒れているを見つけました。回路の保護装置の感度と速度によって、発火する前にこの電線の電力供給が遮断されました。これは、電線に重大な危険が見つかり、システムによって自動的に電力供給が遮断され、壊滅的な山火事の可能性を防止した多くの例うちのほんの一例です。

#### [音楽再生]

これらの設定の強化が2021年7月後半に実施されてから、High Fire-Threat DistrictでCalifornia Public Utilities Commissionに報告義務のある発火が激減したことを確認しています。状況が悪ければ、これらの発火は壊滅的な山火事になっていたかもしれません。当社の調査データによると、過去3年間の平均よりも50%以上減少し、過去1年間の比較では約60%減少していることが示されています。大規模な山火事のリスクが大幅に低減し、生命、家、そして環境の保護に役立っています。

当社は常に、停電の頻度、期間、および規模を抑える努力をしています。電力供給を遮断するための的を絞ったアプローチのために設定をさらに最適化し、できるだけ迅速かつ安全にすべての停電およびHigh Fire-Threat Districtに対応し、地上および空からの巡回を利用して停電の期間を短縮しています。

当社は、これらの安全対策が追加された結果、多くのお客様が停電により困難な状況を経験されていることを理解しています。顧客エクスペリエンスを向上させるために懸命に取り組んでいますが、当社のあらゆる活動の中心にあるのは安全です。

停電に備え、安全を確保できるように、お客様に役立つリソースを用意しています。たとえば、火災の危険性が高い地域にお住いのメディカルベースラインプログラム (Medical Baseline Program) に加入しているお客様は、ポータブルバッテリープログラムの対象となる場合があります。井戸水に頼っているお客様、Medical Baseline Programに加入しているお客様、および特定の小規模非住宅用のお客様のために発電機リポートプログラムがあります。また、重要なお客様、通信事業者、および地方機関との通知および連携を強化してきました。

これらのリソース、山火事を防ぐためのその他の対策については、ウェブサイト [pge.com/wildfiresafety](http://pge.com/wildfiresafety) をご覧ください。その他の緊急時の備えに関するリソースについては、[safetyactioncenter.pge.com](http://safetyactioncenter.pge.com) をご覧ください。ご質問がある場合は、担当者がお答えします。 [wildfiresafety@pge.com](mailto:wildfiresafety@pge.com) にEメールを送信するか、1-800-743-5000までお電話ください。ご覧いただきありがとうございました。

#### [音楽再生]